



お問い合わせ先／一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 http://nutrition-management.jp

# 日本栄養経営実践協会 新支部設立 全国7番目の支部が北陸に開設!

## 北陸の地に栄養経営の根を広げ 未来を創る栄養の花を咲かせよう

11月12日(土)、日本栄養経営実践協会北陸支部設立総会および第1回理事大会が開催され、全国7番目の支部として北陸支部が正式に発足した。北陸における栄養経営士の普及と活発な活動が期待される。

### 6名の役員が決定し 北陸支部の活動を開始

いまだ続く新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、北陸支部設立総会・第1回理事大会はZoomによるオンラインで開催された。冒頭で協会事務局による出席者紹介に続き、それぞれが自己紹介を行った。その後、役員を選出。協会事務局から支部長に石井要氏を

### 推薦し、出席者は全員 一致でこれを承認した。

副支部長には田中弘美氏が推薦され、こちらも全員一致での承認となった。支部長に就任した石井氏は「病院、施設、地域とのかけ橋になるよう、自分が支部長として、医師という立場でお役に立てればと思う。支部長として便利に使って欲しい」とあ

### いさつした。

副支部長に就任した田中氏からは「チーム医療では栄養管理が評価され、食事面でも管理栄養士の専門性が必要とされている。今後は医療・介護との連携等で、経営に強い栄養士の養成は重要になる」との言葉があり、

### 認識した。

管理栄養士を中心とした共同研究等の活動も続いて北陸支部会則案、北陸支部別則案が審議され、いずれも承認された。次の議案として出された令和4年度事業計画については、石井支部長から「すでに半年以上が過ぎていたため、本格的な活動は来

年度以降になるのではないかと。まずは今年度中に次の総会を開き、5年度以降にはセミナーや、管理栄養士が行う多施設共同による研究なども協会の活動として考えたい」と話があった。

### 協会事務局からは

「コロナ第8波もあり、会場開催が可能かは不明だが、できれば年度内に北陸支部設立セミナーを開催したい。石井支部長と相談し、状況を見ながら考えたい」との提案がな

された。また、他支部の活動状況を説明された理事たちからは「支部で開催するセミナーには会員以外も参加できるのか」といった質問が飛び、今後の支部活動に向けての確認も行われた。

### 今後、北陸支部の会

員拡充と支部活動の活性化を図り、栄養経営士の手で北陸地域の栄養の未来を創り上げていければと考えている。多数の会員の参画を期待している。

### 北陸支部 支部長あいさつ



日本栄養経営実践協会  
北陸支部支部長  
公立松任石川中央病院 外科・部長／  
看護師特定行為研修センター・センター長  
石井 要

この度、日本栄養経営実践協会の支部として、北陸支部設立の運びとなり、支部長に就任させていただくこととなりました。北陸支部設立に際し、ご尽力いただきました宮澤靖代表理事をはじめ、関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。

わたくしは、これまでの外科医としての経験をもとに、チーム医療の実践には欠かせないメディカルスタッフへの栄養教育に尽力してきました。また、石川NST研究会の代表世話人として、地域の栄養管理の質の維持・向上を目指し、日々活動しております。

日本の医療界はこれから超高齢社会を迎えるとともに、感染症の蔓延やそれに伴った医療の停滞およびそのツケが今後押し寄せて来ることが予想され、医療機関では困難な経営および医療の展開が強いられると思われまます。医療において栄養管理がとても大切であり、それを担う管理栄養士の重要性が大きいことは言うまでもありません。一方で、管理栄養士もこれから迫り来る医療機関におけるさまざまな問題に、多様性を持ってこれまで以上に関わっていくことが求められています。具体的には、医療機関の経営のみならず、人材育成、持続可能な医療の提供、地域への質の高い栄養管理の普及、予防医学としての栄養管理など、たくさんの課題があるかと思ひます。こうした課題の解決のサポート役が当協会の一つの立ち位置と考えています。

こうした背景のなか、全国レベルでは各々の地域(特に地方)の現状に合った教育は困難であり、また栄養士同士の交流もこのようなご時世では難しく、こうした観点から北陸支部の設立に至っております。今後は、セミナーや集い、勉強会などの開催を予定しておりますので、北陸地域で一丸となって、栄養管理に取り組んでいきましょう! 何卒、支部の活動にご理解、ご協力をお願いいたします。

### ▼北陸支部 役員一覧

支部長	石井 要	公立松任石川中央病院 外科・部長／看護師特定行為研修センター・センター長／石川NST研究会代表世話人
副支部長	田中 弘美	北陸学院大学短期大学部食物栄養学科 准教授／石川県栄養士会会長
理事	甲村 亮二	国立大学法人富山大学附属病院栄養部 副部長・栄養管理室長／富山県栄養士会副会長／栄養経営士
理事	大谷 千晴	金沢西病院 理事・法人事務局長／石川県栄養士会理事・職域専門部会長 (医療)
理事	山田 友香	独立行政法人地域医療機能推進機構福井勝山総合病院 栄養管理室長／在宅訪問管理栄養士／福井県栄養士会理事／栄養経営士
理事	米原 恭子	五省会西能病院診療技術部栄養科 科長／認定栄養ケア・ステーション責任者／富山県栄養士会専務理事

★新会員サービス「オンラインサロン」 大好評開催中!

加算のつきにくい中小病院でも経営に貢献する気持ちを持とう!

本協会の栄養経営士・栄養経営サポーターのみが無料で参加できる「オンラインサロン」。第20回は11月30日(水)18:30より行われました。協会からは宮澤靖代表理事、吉田貞夫理事、眞壁昇理事、山下茂子理事、田中智美理事が出席し、参加者からの話題や質問に対しみんなで意見を交わしました。

この日、最初の話題は「中小病院における現状について」。加算が大きな病院に集中し、200床未満の病院では加算がつかず人も増やせずで業務を絞らざるを得ない、がん病態栄養専門管理栄養士の資格取得の希望が出て臨床研修に出せる状況になく、病棟や在宅での栄養管理に力を入れたともなかなか難しい、他の病院はどうでしょうかという問いかけがありました。

協会本部理事の先生方は400床以上の大きな病院に勤めていらっしゃる方が多く、なかなか回答が難しかったのですが、ちゅうざん病院(216床)で副院長を勤める吉田理事が「以前は200床未満の病院にいたこともあるし、話も時折入ってくるが、200床未満でコストのかかる救急を受け入れているところは、今とても苦しいと思う。人口が少ない場所の中核病院なども同じ。経営的に厳しく、存続

すら危ぶまれるほど。公立病院も厳しく、民営化の可能性もあるかもしれない」と中小病院が直面している大変に厳しい状況を説明しました。それを踏まえたうえで「栄養科が『採算の合わない部門』になっていなければ最低限はクリアしていると考えていい。できればプラスにして、経営に貢献して欲しい」との話がありました。

この日、途中参加した北海道支部の理事である角(かく)直子先生からは「勤務先(札幌禎心会病院)は279床だが、早期栄養介入管理加算など、加算はある程度取ることができた。がん病態栄養専門管理栄養士も難しいと思っていたが、実地修練施設の要件が緩和されて申し込むことができた。チャンスはどこにでも転がっているから、あきらめないで欲しい。新しい情報を仕入れつつ、現状できることを行って力を貯めておくことも重要だ」と励ましの言葉がありました。

また再度、吉田理事から「中小病院には中小病院の良さがある。200床未満の病院では、治療にあたる主要メンバーが顔見知りで、気軽に声を掛け合える。経営で大変な思いをしている院長に給食を持っていったときに、いたわりの声をかけることもできる。人としての信頼関係の良い面が築けるのが中小病院の良さで、大病院にはないメリッ

ト」との説明もありました。

たしかに、診療報酬の加算はその性質上、大病院から順次中小規模の病院へと広がっていくので、中小病院は恩恵を受けにくくなってしまってもいいかもしれません。しかし、自分たちの番に備えて準備をしておくこと、またコミュニティとして小さいからこそ生まれる利点をぜひ活用し、病院経営に貢献してもらえればと思います。

▼11月30日(水)の話題

- ・200床未満の中小病院の現状、みんなどんな感じ?
- ・管理栄養士の業務ボリュームとシフトの決め方はどうしてる?
- ・吉田先生が特許を取ったシスタチンCによる筋肉量の求め方について聞きたい

■栄養経営士 オンラインサロン

- ◇開催日時:毎月下旬 18:30~20:00
- ◇参加対象:栄養経営士・栄養経営サポーター
- ◇受講料:無料
- ◇開催形式:オンライン配信(ZOOM)

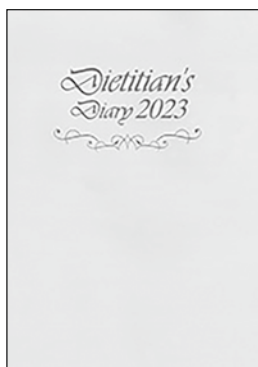
※お互いの顔を見ながら会話するので、カメラ・マイク機能を使えるパソコン・タブレット等をご用意ください  
 ※後日、アーカイブ配信もあります  
 ※個別の症例の相談にはお答えできません

日本栄養経営実践協会 推薦図書

もう1段階上をめざそう! スキルアップ、学び直しに最適 協会推薦図書一覽

通勤や休憩などの隙間時間を活用して、臨床業務や栄養活動に役立つ知識を身につけましょう! 協会が推薦する、栄養経営士の皆様にお勧めの書籍・雑誌をご紹介します。お得な会員価格でお求めいただけますので、ぜひご活用ください!

栄養士ダイアリー 2023



365日 栄養士の日常業務をまるごとサポート! 栄養指導や病棟訪問のスケジュール管理に最適です。  
 ★別冊付録「現場で役立つアセスメントツールBOOK(2023年版)」付き  
 ■監修:「ヘルスケア・レストラン」栄養企画委員会  
 ■体裁:A5判、240ページ、本文2C  
 ■定価2,200円+税  
 会員価格:1,760円+税  
 ■ISBN:978-4-86729168-9

日本における栄養社会史



脚気改善、栄養士の誕生、食育基本法の制定をキーワードに「日本の栄養行政」の歩みを読み解く、資料的価値の高い一冊。  
 ■編集委員代表:原 正俊(元厚生労働省栄養指導官(初代)/公益社団法人日本栄養士会参与)  
 ■体裁:B5判、並製、132ページ  
 ■定価3,300円+税  
 会員価格:2,640円+税  
 ■ISBN:978-4-86729-164-1

栄養管理プロセスを活用した 栄養指導事例集



栄養管理(ケア)プロセスの流れを基本に「日本人の食事摂取基準(2020年版)」を活用した栄養指導事例を紹介!  
 ■監修:中村丁次(神奈川県立保健福祉大学学長・日本栄養士会代表理事会長)  
 ■定価:2,500円+税  
 会員価格:2,240円+税  
 ■体裁:B5判/168ページ  
 ■ISBN:978-4-86439-978-4

国民の栄養白書2021年度版 日本の食と栄養が創る新時代の健康



日本の食についての見直しや日本人の健康をつかっていく取り組み、SDGsに向けた活動等について紹介します。  
 ■編集委員代表:中村丁次(日本栄養士会代表理事会長・神奈川県立保健福祉大学学長)  
 ■企画・制作:ヘルスケア総合政策研究所  
 ■体裁:B5判、並製本、204ページ  
 ■定価:4,000円+税  
 会員価格:3,200円+税  
 ■ISBN:978-4-86729-081-1

「脱水症」と「経口補水液」のすべてがわかる本



脱水症の早期発見から水分補給に役立つ「経口補水液」の使用法までわかりやすく紹介した脱水症の正しい知識と対応法が身につく一冊です。  
 ■編集委員代表:谷口英喜(済生会横浜市東部病院患者支援センター長/栄養部長)  
 ■体裁:A5判、並製本、104ページ  
 ■定価:1,080円(本体価格1,000円+税)  
 会員価格:800円+税  
 ■ISBN:978-4-86439-726-1

◎推薦図書の購入方法

- 1 日本栄養経営実践協会の公式サイトにアクセス
- 2 左下にある「協会推薦教材・図書のご案内」というバナーをクリック
- 3 推薦図書購入方法のページにある会員専用注文書をダウンロード
- 4 必要事項を記入(13桁の認定登録番号必須)のうえ下記までFAX  
 ※支払方法等の詳細は注文用紙をご確認ください。

申し込み先FAX:  
**03-3553-2904**

★こちらのQRコードからもアクセスできます▶



# 栄養経営士が知っておきたい!

# イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

## WEBセミナー情報

### 先駆者と考える 褥瘡治療のこれまでと未来

第24回日本褥瘡学会学術集会(2022年8月)のランチョンセミナーで行われた《プレミアム クロストークセッション》が配信されます。褥瘡学会のこれまでの功績やコラーゲンペプチド含有飲料の褥瘡治療への臨床効果について等、本協会の真壁昇理事を含む4名の専門家が座談会形式で語ります。

- 日 程：2022年12月23日(金) 12:00~2023年1月9日(月) 23:59
- 座 長：岡田晋吾氏(医療法人社団守一會北美原クリニック)
- 演 者：山中英治氏(社会医療法人若弘会若草第一病院 院長)、  
真田弘美氏(石川県立看護大学 学長)、  
真壁昇氏(関西電力病院 栄養管理室長)
- 参加費：無料
- 形 式：Zoom(ウェビナーを使用したオンデマンド配信)
- 主 催/お問い合わせ ニュートリー NTセミナー事務局  
MAIL:ntseminar@nutri.co.jp



## 協会事務局より

### 2022年12月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年12月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を郵送しております。支払期限は過ぎておりますが、事務局ではまだ対応しておりますので、対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 年度会費：有効期限が2021年12月20日~2022年12月19日の方  
【個人正会員】10,000円  
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：会員資格が2019年12月20日~2022年12月19日の方  
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)  
※申請書類・課題をご提出ください。  
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局  
TEL:03-3553-2903

## トークライブ

### 『ヘルスケア・レストラン』トークライブ第8弾 消化態から半固形、粘度可変型、どれを選ぶ?

第7回「全国栄養経営士のつどい」の基調講演でご登壇いただいた水野英彰先生が『ヘルスケア・レストラン』主催のオンライントークライブに出演され、経腸栄養の開始時に消化態流動食を選ぶ理由、半固形状流動食と粘度可変型流動食の使い分けなどを語られます。

- 日 程：2023年1月13日(金) 19:00~20:00
- 講 師：水野英彰氏(医療法人社団悦伝会目白第二病院 副院長)
- 参加費：無料
- 形 式：Zoom
- 主催/お問い合わせ 株式会社日本医療企画セミナー事務局(担当:上田)  
TEL:03-3553-2885



## 協会事務局より

### 本紙『NMEニュース』 電子化移行のお知らせ

DX推進やSDGs等の昨今の世相を鑑み、協会が発行しております『NMEニュース』は今号(2022年12月号)をもって紙媒体による発行を終了し、2023年1月号より電子版(pdf版)でご覧いただくことになりました。\*

電子版は協会ホームページに掲載し、掲載後に読者の皆さまに「NMEニュース掲載のお知らせ」をメールで配信いたします。引き続きご愛読のほど、よろしくお願い申し上げます。

\*「全国栄養経営士のつどい」報告号等、一部は紙媒体でお届けする予定です

- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局  
TEL:03-3553-2903

# 「栄養経営士」資格認定基礎講習DVD



資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

**DVD視聴による受講が可能!**  
★3枚組、特典映像付き★

**栄養経営士も会員価格で聴講できます!**

- 【こんな方におすすめ】
- ・会場で受講したが、内容を復習したい
  - ・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
  - ・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

本編(収録時間/DISC 1: 90分、DISC 2: 73分)

1. 院内・施設内における栄養部門の現状分析
2. 目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
3. 業務の質を高めるためのアウトカム分析
4. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
5. 適材適所の組織マネジメント
6. 病態の把握能力

特典映像(収録時間/DISC 3: 約30分)

観てわかる! 近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて

- 講 師：宮澤 靖 代表理事ほか
- 受講料：8,500円(税込) **会員価格：3,850円(税込)**

# 2022年度「栄養経営士」基礎講習 会場日程終了 講習修了者の全累計は2,167人に

## 医療の質の向上を目的とした病棟常駐 管理栄養士は医療人としての意識改革を

日本栄養経営実践協会が主催する2022年度「栄養経営士」資格認定基礎講習(以下、基礎講習)東京会場が11月27日(日)に開催された。今年度最後の日程となった東京会場は、現地会場とWEB受講のハイブリッド方式で行い、現地参加の8人とWEB参加の30人、合計38人が参加。2015年のスタートから現在までで会場+WEBの受講修了者の累計は2167人となった。

病棟の医療スタッフとしての意識を持つ！

「栄養経営士」の資格認定試験において、基礎講習の修了は受験要件のひとつとなっている。現在は会場またはDVDでの受講が可能で、会場受講の場合は現地会場とオンライン(WEB受講)から選択可能である。自宅や職場にいなからにして講師を務める宮澤靖代表理事の熱い講義が聞けるのがオンラインの良いところであるが、今回の東京会場では「直接講義を聞きたい」と、静岡や大阪、三重、新潟と遠方からわざわざ足を運んだ参加者も見受けられた。

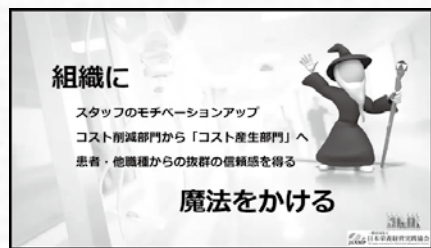
講義の冒頭、講師を務める宮澤代表理事は病院勤務の管理栄養士の現状について言及し、医療スタッフとしての意識の違いについて触れた。医師や看護師などの病棟スタッフ

が「医療の質の向上」

を目的としているのに対し、管理栄養士は「加算の向上」を目的にしがちだと指摘。

「私たち管理栄養士も医療の質の向上のために働くのだと意識改革しなければ本場の意味でのチーム医療にはならない」と警鐘を鳴らした。

続いて、管理栄養士が病棟に出なければならぬ理由について図表を用いて詳しく説明したあと、会場参加者に自部門の問題点とその解決策についてヒアリングを行った。栄養部門としての理想と現実の間で悩む参加者に



対し、宮澤代表理事は自身の経験を紹介しながら、これからの管理栄養士と栄養部門が担うべき役割について説明した。

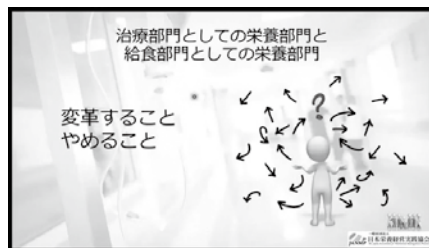
**給食管理と臨床栄養の充実に必要なことは**

午後は病院の栄養部門における二大業務のひとつ、給食管理についてこれからはどう考えて運営していくべきか、また栄養指導件数についての考え方などを、宮澤代表理事が勤務する東京医科大学病院の事例を紹介しつつ説明した。

「委託給食では、委託会社(給食管理)と管理栄養士(臨床栄養)がお互い好きで得意なことを行い、それぞれのパフォーマンスを100%発揮することで、給食と臨床の両方を充実させることができる」と語る宮澤代表理事の言葉に、大きくうなずく参加者の姿も

あった。

その後、組織を変えていくためのステップや成長させるリーダーになるために必要なことを解説し、最後に日本栄養経営実践協会について簡単な紹介を行って講義は終了した。



すべての講義が終了したあと、参加者はこの日の学びについてレポートを作成した。紙面にもいくつかのレポートからの抜粋を掲載している。参加者の気づきを読んでも欲しい。

来年度の基礎講習は、東京(春、秋)と札幌(夏)での開催を

予定しており、北海道での開催は約4年ぶりとなる。新しく栄養経営士の扉を叩く管理栄養士の方々はもちろん、宮澤代表理事の熱い思いを直接感じたいという会員も、ぜひ参加して欲しい。

一人でも多くの管理栄養士にご参加いただき、栄養経営の考えをもとに病院、施設、地域に貢献する栄養経営士として活躍することを祈っている。

### 基礎講習修了者累計

会場受講者数 1,601人  
DVD受講者数 566人  
修了者累計 2,167人  
(2022年11月30日現在)

### 2023年スケジュール

「栄養経営士」資格認定基礎講習

東京会場+WEB受講 **4月16日(日)**  
10:00~17:00



## 基礎講習 参加者のレポートより

「私の所属する栄養科で足りないもの、そしてまず取り組むべき改革は、ビジョンの設定と新人教育マニュアルの作成です。栄養科メンバーが日々の業務に追われ、あっちこっち違う方向を向いているのでは?と感じていた原因がよくわかりました。業務整理を行い、より働きやすい環境づくりをしていきたいです」(Web・病院勤務)

「給食委託企業で事業所責任者をしているが、年々病院管理栄養士の仕事内容が変化していると強く感じている。講習を聞き、病院側と委託側の管理栄養士(調理師)がともにミールラウンドを行うことを実現させたいと思った。実際に自分の目で見て、話を聞いて、食事を共に考えることがより最適な栄養管理につながるのではないかと。今後、クライアントに提案し、結果を出していきたい」(会場・給食委託企業勤務)

「厨房業務と病棟業務の両立で悩んでいましたが、講義を聞いて両立することが正ではないという新しい考えが生まれました。委託業者さんとのコミュニケー

ション不足も業務のやりにくさにつながっていたので、一緒に病棟に足を運んでもらい、定期的に検討会を行うなど意見を交換しやすい場を設けていこうと思います」(Web・病院勤務)

「他部署との診療に対する知識量の格差や専門分野での素養が足りていないことを努力不足であると自己否定することが多かったのだが、これまでの教育構造にも問題があると拝聴し、救われた気がした。これから自分の周りの職員を育てる目的で、基礎医学にあたる分野の勉強会を手はじめに行っていきたい」(Web・病院勤務)

「就職2年目ですが、入職時に『栄養指導件数増加に取り組んでいる』と上長や先輩に言われ、1つの収入源としてやらなくてはいけないものと思っていました。しかし講義を聞き、患者様に対する医療義務として、質を上げられるように取り組まなければならないと思いました。栄養指導媒体の見直しが行われていないため、修正して情報を更新するところからはじめようと思います」(Web・病院勤務)